

「JR連合ビジョン」の実践と政策の推進を通じて、JR産業の持続的発展と組合員の幸せを実現しよう!



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
 1部20円 (但し組合費に含む)
 ●発行者 荻山市朗 ●編集者 今井孝治

facebook
twitter

「JR産業に関わる緊急政策課題の解決を求める署名」へのご協力をお願いします!

コロナ禍の厳しい局面を乗り越え、将来にわたって持続可能なJR産業であり続けるために、①雇用調整助成金の特例措置の延長、②固定資産税をはじめとする諸税や社会保険料など公租公課の負担軽減、③JR北海道・JR四国・JR貨物の経営自立の絵姿を明確にした上での2021年度以降における支援(予算・税制)の継続・拡充、以上3点が実行されるよう、それらを所管する総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣及び国土交通大臣に宛てて要請行動を展開し、その際に提出するための署名活動に取り組みます。

詳細は、組合役員にお尋ねいただくか、下記QRコードからJR連合HPを参照してください。

JR7単組、グループ93単組の全組合員と家族はもとより、JR連合加盟単組に加入されていない皆さんも含めた積極的なご協力をお願いします!



JRグループ労組連絡会第28回総会 加盟単組・労使が一丸となって難局を克服



感染拡大が襲った経営危機を全力で支える所信を述べる荻山会長

JRグループ労組連絡会は8月28日、岡山市内で、第28回総会を開催した。会場の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、出席者を来賓、総会委員、エリア連合担当、幹事会に限定し、「最大の経営危機を加盟単組・労使が一丸となって克服し、安全・安心で将来に希望が持てるJRグループを創造しよう」をメインスローガンに掲げ、厳しい経営環境下での一層の団結を意志統一した。

冒頭、幹事会を代表して八木大星代表幹事(JR西日本連合・NESCO労組執行委員長)が挨拶し、新型コロナウイルス感染症拡大に端を発したこの間の取

り組みを振り返ったうえで、今後の社会変容を見据えた安全衛生活動の充実や働き方の検討、直近の課題である年末手当交渉や2021春季生活闘争に関して所信を述べた。そして、コロナ禍で労働組合の存在が再認識されたことを踏まえ、「JR発足以来最大の経営危機に直面している今こそ、組織強化・拡大を図る絶好のチャンス」として、「コロナ禍を理由に組合活動を停滞させてはいけない。加盟単組が、JR連合ビジョン」を実践し、不安を抱える組合員に寄り添い、これまで築き上げてきた健全な労使関係を基礎に一丸となつて、この難局を乗り越えよう」と訴えた。

JR連合から荻山市朗会長、尾形泰二郎事務局長、開会エリアのJR西日本連合から上村良成議長(JR連合副会長・JR西労組中央執行委員長)、交運共済からは松岡裕次理事長が出席し、連帯と激励の挨拶を受けた。

議事では、幹事会が2019年度活動報告と2020年度活動方針案を提案後一旦休会して分科会別討議を実施。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う労使の取り組みや各単組の活動状

JR北労組は、9月5日、札幌市内において、第18回定期大会を開催した。スローガンに「次代を展望した労働運動を展開し、安全最優先の確立と政策課題、組織課題を解決し、労働者の生活向上、JR産業の維持発展を実現しよう」を掲げ、道内各地から約70人が参集した。

JR北労組第18回定期大会 厳しい経営状況下で あらゆる取り組みへの努力を あらためる

「JR北労組は、9月5日、札幌市内において、第18回定期大会を開催した。スローガンに「次代を展望した労働運動を展開し、安全最優先の確立と政策課題、組織課題を解決し、労働者の生活向上、JR産業の維持発展を実現しよう」を掲げ、道内各地から約70人が参集した。

本大会は7月に開催予定

だったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑みて延期したこと、延期の承認を確認した上で出席者を最小限に抑えるなど、感染予防対策を入念に行いながら開催する運びとなった。また、開会前には昨年の大会以降に新規加入した仲間13人が紹介され、満場の拍手で歓迎し、さらなる組織拡大にむけ意志統

一が図られた。冒頭、挨拶に立った昆弘美中央執行委員長(JR連合副会長)は、新型コロナウイルス感染症について「収束の兆しが見えない状況にあり、かつて経験したことのない試練」と述べ、四半期決算の状況を説明し、経営状況が厳しい中で「この難局を打開するためには労使が結束して、知恵を絞



次代を展望した運動で労使双方の努力を進めると訴える昆中央執行委員長

り、あらゆる取り組みを双方の努力で進めていくことが求められる」と訴えた。

その後、JR北海道の経営自立にむけた取り組み、「JR連合ビジョン」に基づく組織活動に対する所感を示したうえで、大会への積極的な参画を要請した。JR連合からは荻山会長、中村交通政策部長

が出席し、激励と連帯の挨拶を行った。

議事では、執行部から提起された運動方針に対して8人の代議員から方針を補

強する発言があり、執行部からの答弁を経て、園木寛副書記長から総括答弁を行い、すべての議案が満場一致で承認された。

役員改選では、昆中央執行委員長を再任し、新たに越後真一中央執行副委員長、人見圭一書記長を選出するなど、新執行部体制が確立された。大会宣言および「JR北海道の経営自立に向けた決議」を採択した後、昆委員長による団結がんばろうでコロナ禍を乗り越え、経営自立を実現していく決意を固め合った。

最後に総会アピールを採択し、鶴石議長のかけ声のもと団結がんばろうを行い、難局に立ちむかう決意を固め合った。

決議を語った。

議事に入り、幹事会から経過報告・活動方針を提起した後、8人の総会委員・特別委員から安全確立、民主化闘争、組織課題、政策活動、そしてユースラワーをはじめとするコロナ禍での活動のあり方など、方針を補強する発言があり、中間答弁、島口典典事務長からの総括答弁を行った。活動方針についてはモニター上の挙手によって賛否を確認、全員再任での役員体制とともに満場一致で決定した。

青年・女性委員会第29回定期総会 仲間づくりのために 新しい当たり前を

9月12日、JR連合青年・女性委員会は第29回定期総会を開催し、「心ひとつと仲間とともに明るく未来へ」をスローガンに掲げ、向こう1年間の活動方針を決定した。

今総会は新型コロナウイルス感染症の感染予防の観

点から、大阪市内にメイン会場を据えつつ、Web会議システムを活用したライブ形式とし、総勢75人が参集した。JR連合からは荻山市朗会長、中村鉄平交通政策部長(青女担当)が出席した。

冒頭、挨拶に立った鶴石貢議長は、新型コロナウイルス感染症による影響について触れ「政府等への要請行動を実施するなど、最大の危機を乗り越えていかなければならない」としたうえで、「JR連合ふれあいキャンペーン」を紹介し、「こういうときこそ、労働組合として働く仲間が互いに支え合うことが重要」と呼びかけた。その後、①自然災害をはじめとする政策課題と政治との関わり、②安全と政治との関わり、③組織の確立の取り組み、

強化・拡大について考えを示し、第25回ユースラワー強する発言があり、執行部からの答弁を経て、園木寛副書記長から総括答弁を行い、すべての議案が満場一致で承認された。

役員改選では、昆中央執行委員長を再任し、新たに越後真一中央執行副委員長、人見圭一書記長を選出するなど、新執行部体制が確立された。大会宣言および「JR北海道の経営自立に向けた決議」を採択した後、昆委員長による団結がんばろうでコロナ禍を乗り越え、経営自立を実現していく決意を固め合った。



仲間同士の支え合いの大切さを呼び掛ける鶴石議長

が開催できなかつたことから仲間づくりの貴重な機会を提供できるよう、新しい当たり前をつくるべく、決意を語った。

第27回賃金実態調査を実施しています

JR連合は、2021春季生活闘争方針の策定をはじめとした労働政策議論に反映すべく、第27回賃金実態等調査を9月支給分の賃金を対象に実施しています。

基本賃金の向上ならびに諸制度改善を図るべく、全組合員の協力をお願いします。

対象：全組合員(出向以外の休職者、および契約・パート社員、賃金がバス会社基準で支払われている出向者・プロパー社員組合員は含みません。JR西労組・JR九州労組は別途)

バス関係労働者は、10月支給分賃金です

各単組・組合員の皆様のご協力をお願いします。

が開催できなかつたことから仲間づくりの貴重な機会を提供できるよう、新しい当たり前をつくるべく、決意を語った。

労働協約【労働条件等】改訂内容(概要)

J R 各単組は、コロナ禍における働き方を含め、労働協約をはじめとする労使間のルール等を改訂する交渉を展開し、以下の通り 4 単組が各種労働条件を改善する回答を引き出した。

【J R 西労組】

- ・育児する場合の保存休暇の使用範囲拡大 [社員、シニア社員及びシニアリーダー社員]
- (2020年10月1日から適用) 〈コロナ禍における時限的措置〉
- ・コロナ禍で実施した勤務等の制限を撤廃した時限的措置を延長
- ・介護休暇の時間単位での取得可能に [社員、契約社員、シニア社員及びシニアリーダー社員] (2021年1月1日から適用)
- ・新型コロナウイルス感染症に社員等が感染した場合等の取扱い整理
- ・コロナ禍での会議・出張等の今後のあり方の周知と整理
- ・テレワーク環境の更なる整備の検討
- ・電子決裁機能の支社展開

【J R 東海ユニオン】

- ・在宅勤務の規程化
- ・フレックスタイム制の変更
- ・所定労働時間の短縮措置制度等の変更
- ・育児休暇 (小学校) の変更および育児休暇 (小学校) の新設
- ・保存休暇制度の変更
- ・育児看護休暇および介護休暇の変更
- ・65歳定年に関する協定の条文の改訂
- ・職務手当の支給方法の一部見直し
- ・特許等補償金制度の変更
- ・被服類定期貸与の見直し
- ・Jネットリモート端末、WEB会議用可搬型インターネット端末の導入

- ・中央新幹線各工事事務所長の決裁権限拡大 等

【J R 四国労組】

- ・本人申請に基づく始業時刻の変更が可能に
- ・女性特有の休暇制度の名称を変更
- ・育児・介護休業法施行規則等の改正への対応
- ・職務手当の支払い範囲を拡大
- ・特殊健康診断を兼ねる定期健康診断受診を勤務扱いに
- ・コロナ禍の影響による結婚休暇特例措置の延長
- ・列車乗務員として雇用する契約社員の社員採用時の初任給等の新設
- ・契約社員の賃金控除項目の拡大

【J R 九州労組】

- ・積立保存休暇及び保存休暇の使用事由の拡大
- ・積立保存休暇及び保存休暇の使用事由の見直し
- ・子を養育する場合の無給休暇の新設
- ・育児を行うための勤務措置の適用条件の見直し
- ・育児・介護を理由に退職した社員及び地域社員を対象とした再雇用制度の適用条件の見直し
- ・フレックスタイム制の適用範囲の拡大
- ・テレワークの新設
- ・嘱託再雇用社員の出勤期間の見直し
- ・宿泊料の見直し
- ・インフルエンザ予防接種費用の全額負担

「出会い・ふれあい・語り」の理念のもと、今こそ労働組合の意義・役割を

J R 連合九州地方協議会は、9月12日、福岡市内にて、感染拡大対策を講じ、第29回定期委員会を開催した。



不安を抱える仲間を支え、J R 連合への総結集を呼び掛ける

交通共済 (JR職域生協) みんなで暮らしをガード

守るのはあなたの家族とマイホーム

家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済

冒頭、挨拶に立った鎌田茂会長 (J R 連合副会長・J R 東海ユニオン中央執行委員長) は、「これまで経験したことのない危機に直面しているが、このような

J R 連合関東地方協議会は、8月27日、東京都内において、ソーシャルディスタンスに配慮し、通常より

関東地協第29回定期委員会 助け合いの精神で 責任を果たそう

り簡潔な議事運営として第29回定期委員会を開催した。冒頭、挨拶に立った山本康平議長 (J R 東海ユニオン新幹線地方本部執行委員長) は、「新型コロナウイルス感染症の拡大により大

変厳しい状況にある今こそ、将来を展望し、次なる発展につながる取組みを各単組と連携して進めていかなければならない。

なかつたが多くの連帯のメッセージが寄せられ、会場内で共有を図った。

九州地協第29回定期委員会 「出会い・ふれあい・語り」

議案が満場一致で承認された。役員改選では、引き続きいて中原議長とする役員体制を確立し、この難局を乗り越えるべく力強い団結がな

J R 東海連合は、9月9日、名古屋市内において、第36回定期大会を開催した。ソーシャルディスタンスへの配慮等を行った上で、スローガンに「安全最優先の行動・組織強化・連帯活動の充実 J R 東海グループに働く労働者が ONE チームで、かつてない難局を乗り越え、組合員と家族の幸せを実現しよう」を掲げ、難局を乗り越え、展望を切り拓くための意志統一を図った。

本大会には、J R 連合をはじめ、連帯する多くの仲間からメッセージが寄せられた。議事においては、執行部から提起された今年度の運動方針や「J R 東海連合中長期目標 (2015~2024) の改訂」などについて23人の代議員から方針を補強する発言があり、執行



労働組合の存在意義を訴え組織力と創造力の発揮を促す

「J R 連合ビジョン」の実践を呼びかける

J R 西労組の川原です。本部の執行委員としては4年目となり、主に組織グループ (政治・教育等) を担当しています。入社は1994年で、駅・車掌を経験し、在来線運転士を20年あまり経験してきました。

役員紹介



J R 西労組 中央本部
中央執行委員
川原 晃一 さん

初は目も当てられないほどの焼け野原状態でしたが、日々刻々と街並みが整備されるとともに、一番被害の大きかった六甲道駅も復旧し全線開通した時には、みんなで歓喜したのを思い出します。

また、福知山線列車事故当時は、運転士として事故現場付近で停車し、職場まで徒歩で帰宅した際に、沿線の方から厳しいお叱りの声を頂戴したこともあります。翌日以降も、職場から駅にむかう間にご遺体安置所となった体育館があり、ご遺族様と思われる方々とすれ違う度に

厳しい視線を感じ、前をむいて歩けない経験もしました。そのような困難の中でも、憔悴している組合員を分会役員として鼓舞し続け、仲間とともに乗り越えることの大切さを知ることができ、それが今日までの労働運動に生きていると実感しています。

この新型コロナウイルス感染症によって危機的な状況に陥っています。1歩を踏み出すからこそ、2歩、3歩と歩みを進めていくことができます。ピンチをチャンスに変えるという気持ちを持ち、全組合員の創意工夫で新たな活動を進めていきたいと考えています。

大阪にこられた際には、J R 西労組本部にぜひお立ち寄りください。愉快な役員と職員がおもてなしをいたします。